

令和7年度大磯町教育委員会第9回定例会議事録

1. 日 時 令和7年12月18日 (木)

開会時間 午前9時30分

閉会時間 午前10時40分

2. 場 所 大磯町役場4階第1会議室

3. 出席者 府川陽一 教育長

トーリー二葉 教育長職務代理者

櫻田京子 委員

武沢護 委員

鈴木孝善 委員

加藤敦 教育部長

齋藤永悟 町民福祉部参事（こども政策・子育て支援対策本部担当）

波多野昭雄 学校教育課長

守屋清志 生涯学習課長兼生涯学習館長兼図書館長

北水慶一 生涯学習課旧吉田茂邸利活用担当課長兼郷土資料館館長

小林琢哉 子育て支援課長

（こども家庭センター長兼子育て支援総合センター所長兼子育て支援センター所長）

須田幸年 学校教育課主幹兼教育指導係長

上遠野聰（書記）学校教育課副課長兼教育総務係長

4. 欠席者 なし

5. 傍聴者 1名

6. 報告事項

報告事項第1号 おおいそ文化芸術祭の開催結果について

報告事項第2号 いじめに係る対応等について

8. その他

(開 会)

教育長) 皆様、こんにちは。本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、ただいまから、令和7年度大磯町教育委員会第9回定例会を開催いたします。

本日の会議の内容ですが、報告事項2件でございます。

本日は5名全員、出席しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立いたしました。

本日は傍聴を希望される方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可いたします。

暫時休憩します。

～ 休憩 ～

【令和7年度第8回定例会の議事録の承認】

教育長) 休憩を閉じて再開します。

それでは、はじめに「令和7年度第8回定例会議事録」の承認をお願いします。

令和7年度第8回定例会議事録は、お手元に配付しました内容のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「令和7年度第8回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

続いて、教育長報告をさせていただきます。

諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

次に、11月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関するこ^ト、専決した事項に関することについての報告はございません。

本日の報告は、以上でございます。

【報告事項第1号 おおいそ文化芸術祭の開催結果について】

教育長) 続きまして、報告事項に移ります。報告事項第1号「おおいそ文化芸術祭の開催結果について」、事務局より報告をお願いします。

生涯学習課長) 報告事項第1号、「おおいそ文化芸術祭の開催結果について」説明をいたします。

「おおいそ文化芸術祭」は令和7年10月11日から12月11日を開催期間として、おおいそ文化芸術祭実行委員会の企画運営により、生涯学習館や図書館、福祉センターさざれ石などの施設で開催されました。

実行委員会企画となって3年目となる今年度は、昨年度、集客の少なかった展示イベント

において、「コドモあーと展」を開催するなど、町内各団体と連携して多様なイベントが開催されました。

また、地区における文化祭は、10月11日から11月3日の期間内に11地区において開催されました。

説明は以上です。

〈質疑応答〉

教育長) おおいそ文化芸術祭は、芸術祭となってから3年目を迎えたんですね。

委員の皆様のご意見、ご質問をお願いいたします。

武沢委員) 僕も幾つかこれ、行ったんですけども、参加者とか何か、何人来てるとかという、そういう数値というのは取っていらっしゃるんですか。各団体にお願いをして、そういうのはやっていますか。

生涯学習課長) イベントの内容ごとに異なり、団体の負担になってしましますので依頼はしておりません。ただ、各実行委員会の主催イベントについては数えられるものは測るような形で行っておりますけども、まだ、集計中です。

武沢委員) 分かりました。

櫻田委員) 芸術祭という形でたくさんの方が参加されているとお伺いしました。

昨年と比べて今年は数が増えている状況でしょうか。

生涯学習課長) この文化芸術祭につきましては、実行委員会が町内で色々なイベントを行っている団体に声かけをしまして、その情報を一元化してパンフレットを作成し、皆さんに提供というようなかたちです。今こちらに載っているものは、そのパンフレットに掲載している参加団体数の表記になっております。

その団体数につきましては、初めての年、令和5年度は9団体で、令和6年度は17団体。今回は20団体というかたちです。パンフレットにつきましても昨年度まではA4の見開きでしたが、今年度は三つ折りのA4サイズのものというような、記載する団体が増えるような形となっております。

櫻田委員) ありがとうございます。

パンフレットが非常に立派なものだったので、非常に私も何かすてきだなと思って拝見しました。ありがとうございます。

教育長) パンフレット代はどのくらいだったんですか。

生涯学習課長) すみません。今数字は持っていないけれども、実行委員会には55万円の交付金を出しておりまして、その中で色々なパンフレット、イベントの案内チラシ、そういったものを作成しております。

教育長) 生涯学習課長の位置付けは、実行委員会の一員とカウントされているわけですね。

生涯学習課長) いいえ、実際の事務運営は実行委員会主体で動いておりまして、それを支援する立場で、生涯学習課がおります。

トーリー教育長職務代理) 以前は、文化祭みたいな形でやっていて、3回目ということで、昔に比べてすごく活気が出てきたように思います。やっぱり実行委員会のほうにある程度委ねて、すごく団体も年々増えているようですので、このままいい形で盛り上がっていけばいいなと思っております。

武沢委員) 宣伝の方法ですが、確認していないんですけど、例えばSNSとかインスタグラムとか、そういうような事前の発信というのは実行委員会としてやっていたんですか。

生涯学習課長) 実行委員会のメンバーの方がホームページとかユーチューブなどを立ち上げてそちらで色々な紹介、パンフレットの内容とかも掲載しております。

武沢委員) ありがとうございます。

教育長) 鈴木委員は何かございませんか。

鈴木委員) 様々な大磯地区の様々な場所で工夫されて、こういう催し物ができているなというふうには感じています。

例えば、大磯小学校の合唱団なんんですけど、今年、ふれあい会館でやるようになったということで、決めました。最初、会場が狭いというかということで心配していたんですけど、団員の数も減ってきて、小ぢんまりとしていい雰囲気でできたということは聞いています。

ただ、私の希望としては、やはり、大磯の合唱団だけではなく、広い施設で、大勢の方が、結構できるような施設が欲しいなというふうに思います。

教育長) それに関連して、大磯ファミリーロックフェスティバルは、すごく盛り上がっていると聞いているんですけど、そのステージで合唱ということは考えられますか。

生涯学習課長) まず、大磯ファミリーロックフェスティバルにつきましては、港の芝生広場にステージトラックを持ってきて、そこでステージパフォーマンスという形になっております。

参加者がいろいろ集っての参加なので、そこに入れるというのは難しいと考えています。

教育長) その前の年はエリザベス・サンダース・ホームで実施しましたね。

トリー教育長職務代理) 海の見えるホールのところね。

教育長) それはよかったですけど、合唱できて。そういう施設が大磯には、二宮町のラディアンのような施設がないですね。

武沢委員) 何かオープニングセレモニーみたいな形で、まず一つぽんとやって、その参加団体が一言アナウンスしたり、合唱団が演奏をしたりして、みんなで盛り上がって、それぞれの会場の、それぞれの機関で何かやるとかというような。何か組織的な対応をすると、大磯の魅力も対外的に、何かPRできるかなという気が。

これだけいい素材を持っている大磯町ですので、その辺は生涯学習課としていろいろ工夫されるといいと思うんですけど。

トリー教育長職務代理) それこそ今、ホール自体がもう既存のものがないので、ノジマですか。そういうところ、もし借りればいいかなと思います、駅前だしね。それで駄目ならエリザベス・サンダース・ホームの中もきれいですけど、なかなかあそこも借りるの大変みたいですから。海があってすごく、音響がいいんですよね。

なのでそういう、本当はラディアンみたいなホールがあると。

教育長) そういう働きかけについては、生涯学習課長、どのように考えていますか。

生涯学習課長) ありがとうございます。昨年2年目だったんですけども、実行委員会の中で話をして、エリザベス・サンダース・ホームの海の見えるホールですね、こちらを借りることができました。昨年はこの中にイベントが入っておりました。そちらのほうでステパンノ学園とか大磯の小学校の子たちの音楽祭という形で開催をした経緯がございました。

今年度もという形で交渉してきましたが、学校施設ということ、また宗教的に日曜日は使えないというようなこともあります、今年は使えなかったというような経過がございます。

また、企画に戻りますと、子供たちの音楽祭を開催するにあたって、会場探しは実行委員会でいろいろ検討しました。その中で最初、もうこうなつたら、二宮のラディアンを借りてそこで盛大にやつたらどうかという話もでました。実行委員会の中で名前をつければいいんじゃないいかという形で、いつとき進んだんですけども、途中から、やはり大磯だからということでなくなりました。その経過の中でステパノ学園にお話をさせていただいて、場所を借りることができたと。

今年はそういった学校の都合で借りることができなかつたというような経過になっておりまして、場所をいろいろ探して、前年度はさざれ石で、色々なイベントをする中で、今年はふれあい会館の3階のところの大きなホールのところでやってみようということで、場所につきましては、課題としていろいろ模索しながら実施しているという状況です。

教育長) オープニングセレモニーという考え、そのとおりだと思いますが、一応 11 月 1 日が最初の日。

生涯学習課長) はい。そうですね 11 月 1 日は大磯コラボレーション。これが実行委員会主催のステージ部門のイベントとなっております。こちらにつきましてはオープニングという形で、このコラボレーションに参加している団体の紹介とか、最後には全員で合唱だとか。そういういったような形で、1 日で終結するような形でやっておりま。各イベント時期、それぞれぞれでありますので、全体で集まってというのだと難しいのかなと思います。実行委員会のほうにはそういう提案があるということはお話をさせていただきたいと思います。

教育長) よろしくお願いします。

鈴木委員) おおいそ文化祭に参加したのが小学生だけですよね。中学生、中学校の吹奏楽だとか、そういう演劇クラブとか、いろいろあると思うんですけど、小学生だけじゃなくともう少し、中学生は忙しいと思いますけど、参加できるようなふうに呼びかけというか、していただとありがたいなというふうに思います。

それで、一昨年か。ステパノ学園で中学校の吹奏楽をやって、その時に、機材の運搬が非常に苦労しているということを聞きました。そういうことがあって、今回断られたんじやないかと思いますけど、できれば、大磯の町民みんなでこぞって文化祭を盛り上げるという意味で、中学生も参加できるような会場とか、呼びかけとか、お願いしたいなというふうに思います。

生涯学習課長) こちらの実行委員会の運営に関しましては、情報の一元化で、皆さんに情報を集めて周知するという形になるので、こちらに書いてある、実行委員会が主催のイベントにつきましては実行委員会で会場等、運営とかやっておりますけど、それ以外のイベントにつきましては、各団体それぞれで準備、運営をやっているという状況なので、学校とかそういうところで参加したいという声があれば、パンフレットに載せたりとかして PR できると思います。声かけは引き続き続けていきたいと考えております。

教育長) 大磯町の小中学生がこのプラスバンド部をはじめ、ステージ部門の参加があつたらという鈴木委員のご質問に対して、学校教育課主幹はどのように考えますか。

学校教育課主幹) プラスバンド、吹奏楽をイメージしております。

子供たちや家庭の考えというのは、恐らく活躍できる場所だとか、発表する場というのを多分かなり望んでいる。今、部活動の地域展開ということで考えたときに、やはりこれも一つの地域展開になるのかなというふうに思っています。

あとはその方法をどうするかというのを、学校の負荷を今減らしていくという趣旨もあるので、そことうまくリンクさせながらこういう場を利用して子供の活躍の場を増やすというのは、大変、意義というか、重要な事だとは感じます。

教育長) 大磯中学校の文化祭が結構盛り上がっているようですけど、今年は何月。

教育部長) 10月18日です。

教育長) 10月18日に開催して、結構、特に大磯中学校、参加者が多くて、同日に国府中学校も開催したんですけど、ブラスバンドが結構盛り上がっていた感じがしますけど。その兼ね合いで、それを芸術祭には入れてはいないと。中学校の文化祭として例年やっているわけですね。

鈴木委員) 部活動でやっている内容というのは、結構積み重ね、総合とかもそうなんですが、積み重ねたもの、発表物というか、というのを考えると、色々な場でそういうのを見てもらう場があったほうがいい。もっと言ったら、合唱とか吹奏楽の発表みたいなものって、小学校でやってもいいのかなと思うくらいなので、やっぱりその活躍の場を、できる範囲とはなりますけど、作ってあげるのは有効かなというふうに。やっぱりいいものはみんなで共有するというところは重要なというふうに思います。

教育部長) 大磯まつりにも出ていただいているよ、ロングビーチでやる、ブラスバンドたちで。

鈴木委員) 機材を運ぶのに結構大変らしいですけどね。でもまあ、大人が少し協力して、できるだけ子供たちが活躍の場を広げてもらいたいなと思います。

武沢委員) これは例えば、県立高校などとの合同は、行政的にも難しいですかね、小中と、例えば大磯高校のブラスバンドもすごく上手だと聞くんですけど。その辺もまだ可能かどうかも含めて。

学校教育課主幹) やってあげたほうがいいですよね、高校生の成果物を見るチャンスだとか、そういう交流も、発想としては必要なのかなと。ただ、具体的な調整をどうするか。県の管轄である県立高校と、町の管轄である小中学校。その連絡体制の中で、やっぱりその高校とのコラボというのがまだ弱いなという感じが。そこは一つ。やったことがないところとして、一つあり得るのかなと思います。

櫻田委員) 私、大磯高校の文化祭に今年行ったんですけど、すごい盛況だったんです。それで、例えば、この大磯文化祭、秋だったので、多分この時期なんですよね。それから、高校の文化祭としてやるんですけど、こういう、町の芸術祭の一つとして紹介するという形で、例えばパンフレットに載せておくとか、そうすると何となく交流があるなという感じも考えられるし、あそこでやるんだったら行ってみようかなとか思う人もいるかもしれないということで、そういう広報とか、その辺の中で仲よくしていくというのは結構大事かなというのは思いました。

私は高校の教員だったので、ブラスバンドって、機材を運ぶのが本当に大変で、高校の隣の小学校に行くにも、わざわざトラックを何万円で借りて運んでということをしていたんで

すね。だから、あそこでやってくださいよというのは、意外と難しいというのが現実的にはあると思うので、学校でやるときを紹介するというのは、学校としてはうれしいんじゃないかなというのは思います。

教育長) 生涯学習課長、どのように考えますか。

生涯学習課長) 掲載については、学校側の考えもあると思いますので、文化芸術祭の実行委員会としては、載せるのは多分問題ないのかなと考えております。

あと、この大磯高校の参加につきましては、大磯のファミリーロックフェスティバルで、毎年大磯高校の軽音楽部が参加しています。今年はボーカルの子がインフルエンザで、辞退を、直前でということで、できなかつたんですけども、大磯高校の先生のほうも皆さん大変、ファミリーロックフェスティバルについてはお礼をいただいておる状況です。

なお、今年度につきましては、大磯中学校のOBの子がファミリーロックフェスティバルに参加というような形で、大磯高校もこれには一応参加という形になっております。

学校については、来年度パンフ作成のときに実行委員会のほうと、あとは学校のほうにお声かけとかをして、掲載できるものであれば、そういう考えでいいかなと思います。これに載せるとかなりお客様が来ると思いますので、学校側の受け入れ態勢とかもあると思いますので、その辺は、進めて考えていきたいと思います。

武沢委員) 先日、大磯邸園で野点があつてそれに行つたら、野点のお点前をするのが大磯高校の茶道部だったんです。すごいなと思って。それで、一通り説明してくれて、顧問の先生もちゃんとついていて、大磯高校もこんなふうに町に参加しているなというのを思いましたので、そんな発言をしました。

教育長) 11月、12月は色々な催しやイベントがたくさんで、それを含めて紹介というのも一つの手だと思いますね。

ぜひ生涯学習課長のほうで事務局として検討をお願いしたいと思います。

以上でよろしいでしょうか。

【報告事項第2号 いじめに係る対応等について】

教育長) それでは、報告事項第2号「いじめに係る対応等について」を議題とします。

報告事項第2号については個人情報を取り扱う内容となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び大磯町教育委員会会議規則第12条の規定により、秘密会したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) ご承認いただきましたので、報告事項第2号については、秘密会といたします。

傍聴者は退室をお願いいたします。

暫時休憩します。

～ (秘密会) ～

教育長) それでは、休憩を閉じて、公開の会議を再開します。

ただいま、秘密会において、報告事項第2号「いじめに係る対応等について」の報告の報告

がありましたことをご報告いたします。

【その他】

教育長) 次に「その他」について、何かございますでしょうか。それでは、事務局からお願
いします。

教育部長) 次回の教育委員会定例会は、1月22日、木曜日、午前9時30分から、役場4階第1
会議室で開催予定です。

教育長) それでは、以上をもちまして、令和7年度大磯町教育委員会第9回定例会を閉会いた
します。お忙しい中、長時間に渡りご審議いただきまして、ありがとうございました。お
疲れさまでした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

令和8年1月22日

教 育 長 府川 陽一

教育長職務代理者 トーリー 二葉

委 員 武沢 譲

委 員 櫻田 京子

委 員 鈴木 孝善